



05



英国の 人材ビジネス

HR business overview in the UK

入職経路・採用経路

05 入職経路・採用経路

入職経路

国立統計局(ONS)の労働力調査(2022年4～6月期)によると、「現職、または、ごく最近離職した仕事について、どのような手段で入職したか(過去3カ月以内の場合)」という質問に対する回答は、図表1の通りであった。

最も多い「求人広告への応募(39.4%)」には、新聞、雑誌、求人求職サイトなどが含まれると考えられる。次いで多いのは、「既にその会社で働いている人から聞いた(21.7%)」「直接応募(17.2%)」だった。

図表1 入職経路 (単位：%)

入職経路	割合
求人広告への応募	39.4
ジョブセンター	2.4
キャリアズオフィス ¹	0.5
ジョブクラブ ¹	0.1
職業紹介会社、人材派遣会社	8.5
既にその会社で働いている人から聞いた	21.7
直接応募	17.2
その他	10.2

有効回答数：5,311

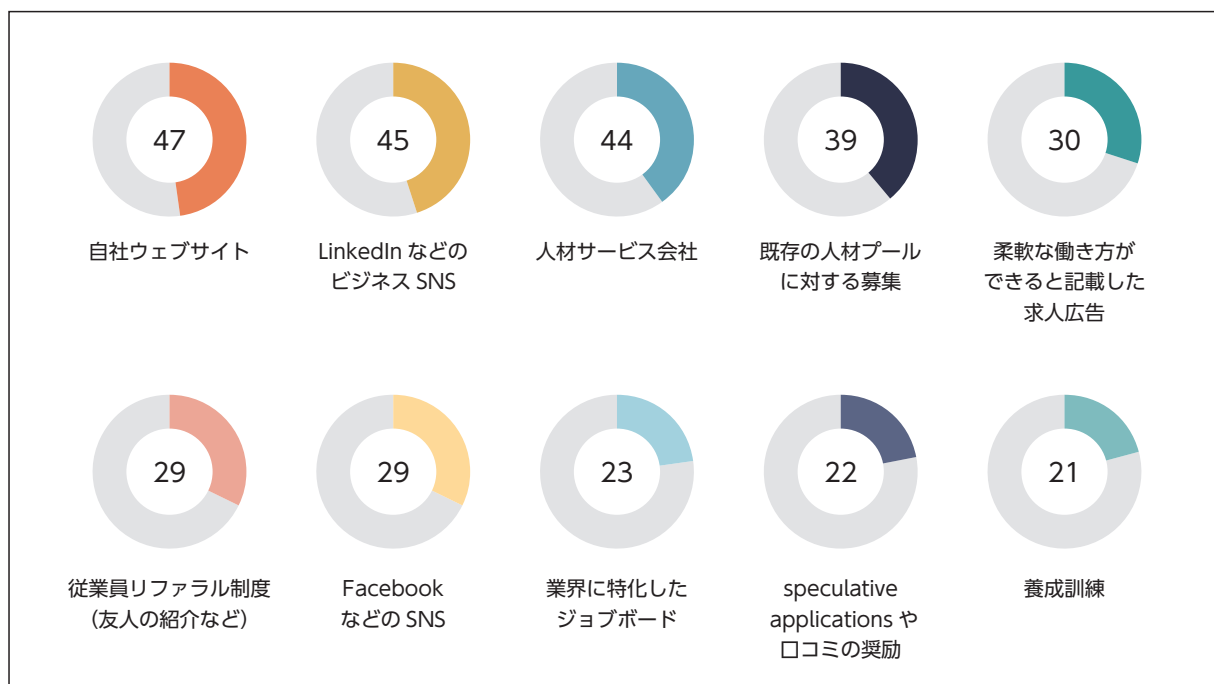
出所：UK Data Service

¹ キャリアズオフィス、ジョブクラブは公共職業紹介の一種

採用経路

英国人材マネジメント協会(CIPD)の「Resourcing and talent planning report 2022」によると、効果的な募集方法は「自社ウェブサイト(47%)」「LinkedInなどのビジネス SNS(45%)」「人材サービス会社(44%)」「既存の人材プールに対する募集(39%)」だった。(図表 2)

図表 2 2022年4月までの12カ月間での採用経路上位10種(採用活動を行った企業に占める割合)(単位:%)



N=778社

出所: "Resourcing and talent planning report 2022", CIPD

効果的な募集方法はセクターごとに大きく異なる。民間セクターは「人材サービス会社(49%)」「従業員リファラル制度(37%)」「消極的求職者への直接的なアプローチ(18%)」「speculative applications² や口コミの奨励(26%)」を効果的な募集方法としてあげる割合が高かった。

公共セクターでは「既存の人材プールに対する募集(53%)」「専門誌・業界紙(28%)」をあげる割合が高かった。(図表 3)

図表 3 産業別 2022 年 4 月までの 12 カ月間での採用経路 (採用活動を行った企業に占める割合) (単位: %)

全体(社数)	民間セクター	公共セクター	非営利セクター
	565	147	66
自社ウェブサイト	44	54	52
LinkedIn などのビジネス SNS	48	34	44
人材サービス会社	49	32	30
既存の人材プールに対する募集	35	53	35
柔軟な働き方ができると記載した求人広告	26	39	40
従業員リファラル制度(友人の紹介など)	37	12	8
Facebook などの SNS	26	26	61
業界に特化したジョブボード	23	18	32
speculative applications や口コミの奨励	26	13	19
養成訓練	20	25	16
学校・カレッジ・大学とのつながり	20	29	9
専門誌・業界紙	13	28	18
消極的求職者への直接的なアプローチ	18	6	7
ジョブフェア(バーチャル含む)	12	17	10
配置転換	8	23	8
新聞(オンラインまたは紙面、地方紙または全国紙)	9	13	9
他社または異業種との連携	7	13	8

N=778 社

出所: “Resourcing and talent planning report 2022”、CIPD

² 求人募集をしていない企業に対して、仕事がないか問い合わせること

Works University

英国の人材ビジネス

05 入職経路・採用経路

執筆

長岡 久美子 (リクルートワークス研究所)

監修

村田 弘美 (リクルートワークス研究所 主幹研究員)

表紙・制作

中元 杏奈 (リクルートワークス研究所)

制作

泊 真樹子 (リクルートワークス研究所)

寺嶋 恵美子 (リクルートワークス研究所)

発行

リクルートワークス研究所 グローバルセンター

2022年12月22日発行

リクルートワークス研究所
〒104-8001
東京都中央区銀座8-4-17
リクルート銀座8丁目ビル
株式会社リクルート
<https://www.works-i.com>

本誌掲載記事の無断転載を禁じます。
©Recruit Co.,Ltd. All rights reserved.